支えあい通信

今回の支えあい通信では心の居場所活動をされている「一般社団法人あいみんテラス」の代表理事である片山さんにお話を伺いましたので紹介します。

【一般社団法人あいみんテラスとは...】

一宮市向山連区にある松鶴寺を母体に、住職である私が、ひとり親や生活困窮者、地域社会のため、お寺を広く活用したいとの思いで設立しました。フードバンク・子ども食堂・心の居場所などの活動を行っています。

代表理事：片山清顕さん

【「心の居場所」活動を始めたきっかけ】

居場所には、物理的に「自分がいる場所」、心理的に「自分が安心していられる場所」といったさまざまな意味があります。特に心理的な居場所という意味で「自分が安心していられる場所」は人間誰しもが必要だと考えています。

しかし、心が風邪を引いていたり、学校・家庭・会社等に安心していられる居場所ができないという方が大勢いることを、あいみんテラスの活動を通して知りました。そこで、「ありのままの自分でいられる居場所＝心の居場所」を作ろうと思い活動を始めました。

【活動にあたって】

一宮市社会福祉協議会や一宮市精神障がい者家族会「びわの会」の皆さんと打合せを重ね、2024年9月からあいみんの家(心の居場所)を立ち上げ、活動をしています。参加者はまだまだ少ないですが回を重ねるごとに増えており、居場所の大切さを実感しています。また、特定非営利活動法人一宮まごころ、不登校親の会ループ、就労継続支援B型事業所キャリアクワン宮駅前さんの皆さんにも運営にご協力をいただいています。

【「あいみんの家(心の居場所)」の内容】

開催日には、内職や読書などのお好きな趣味を楽しむ時間にしていただくもよし、お友達やスタッフ、また住職とお話をするもよし、悩み事があれば福祉の相談員が相談に乗ってくれます。開催ごとにお立ち寄りの方が増えておりますが、事前の予約はいりませんし、途中からお越しいただいても、途中でお帰りになられても大丈夫です。

開催日時 毎月第2火曜日13:30～15:30

会場 松鶴寺(北園通3-15)

参加費 100円

【最後に】

心が疲れてしまったと思う方が、ふらっと立ち寄れる居場所を目指しています。ぜひ、お気軽にお越しください。また、詳細につきましてはあいみんを家のウェブサイトをご覧ください。→https://aiminterasu.net/aiminnoie_top/